

**日本初の全寮制インターナショナルスクールの児童と共同で作る
 「手作りばらのポプリ」のワークショップ 9/22**

秋晴れの下、当女性会で、神石郡神石高原町にある「(学)神石高原学園 神石インターナショナルスクール (JINIS)」を訪問しました。参加者は12名。

今回の訪問目的は二つ。一つは、日本で唯一の全寮制小学校を見学すること。そしてもう一つは、長年続けてきた活動である、福山市のはらの花びらで作ったポプリを使い、児童たちと一緒にポプリボックスを作るワークショップを行うことです。



▲神石インターナショナルスクールを見学

学校は、旧リゾートホテルをリノベーションして2020年4月に開校されました。「世界中から集まつた子どもたち一人ひとりの可能性と未来に寄り添いながら、それぞれのコミュニティを尊重すると同時に、学ぶことの喜びに目覚め、尊敬・感謝・誠実さ・自然への敬意という日本の伝統的な価値観を共有し、生涯にわたるかけがえのない友情を育む」をMISSIONとしています。未来を拓く勇気と友情を育み、日本文化を身につけながら、中学校から世界の学校へと進学し、国際感覚を備えた人材を育成する素晴らしいインターナショナルスクールでした。



▲末松弥奈子理事長による学校説明

施設見学後、1年生から3年生の児童23名を対象に、福山ばら祭や世界バラ会議福山大会で使用されたばらの花を摘み取り、自然乾燥させたポプリを透明なボックスに詰め、好みのシールで飾るワークショップを実施しました。子どもたちはそれぞれ工夫を凝らし、完成させたポプリボックスを手に「離れて暮らす家族にプレゼントしたい」と話す姿も見られ、心温まるひとときとなりました。

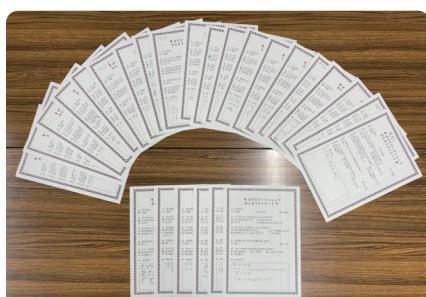
地域活性委員会 平木 滋子



▲ポプリのワークショップ



▲完成したポプリボックスを持つ児童たち



子どもたちに実施したアンケートでは、「ばらの花びらもきれいで、優しく教えてくれてとても楽しかった」などの声をいただいた